

1年生から6年生までの連続する差異の特徴的な姿

| | 体験 | 思考、判断 | 他者と共に生きる |
|---------|--|---|--|
| 1年生の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・旺盛な好奇心に支えられ、個別的に対象にかかわりながら日常の楽しみをつくる。 ・変化することを楽しみ、思わず体が動き出す。 ・単純な具体物をつくり出し、その行為自体を楽しむ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ごく短い時間、ごく近い空間的距離をとらえる。 ・具体について、直感的、即時的、空想的にとらえる。 ・およその出来事を成功としてとらえる。 ・体験したことを同化しながらそのままとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・素直で率直、親和的に他者とかわる。 ・他者が自分と同じであることを喜ぶ。 |
| 2年生の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・旺盛な好奇心に支えられ、身近な仲間と共に対象にかかわり試行錯誤しながら日常の楽しみをつくる。 ・変化することを楽しみ、思わず体が動き出す。 ・やや複雑な具体物をつくり出し、その行為自体を楽しんだり、他者にひらいたりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・短い時間、近い空間的距離をとらえる。 ・具体を基に、直感的、空想的にとらえる。 ・およその出来事を成功としてとらえる。 ・体験したことを客観的なものへと対象化しながらとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・素直で率直、親和的、共感的に他者とかわる。 ・身近な仲間として他者が自分と同じであることを喜ぶ。 |
| 3年生の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・旺盛な好奇心に支えられ、活動の範囲を校外にひろげることで生じる新たな対象との出会いから楽しみをつくる。 ・変化することを楽しみ、思わず体が動き出す。 ・身近な仲間と共に、多様なアイデアを生み出しながら、発見を連続させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・やや長い時間、やや遠い空間的距離をとらえる。 ・具体を基に、空想的、やや抽象的にとらえる。 ・行為と行為の因果関係をやや意識し、失敗してもやり直そうとする。 ・体験したことを客観的なものへと対象化しながらとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・共感的に他者とかわる。 ・身近な仲間として、他者と喜びを共有する。 ・自分が他者と同じであることを喜ぶ。 |
| 4年生の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・具体物をつくったり対象について調べたりしながら、対象に内包される生活の事実の意味や価値を求める。 ・経験を基に多様なアイデアを生かし活動する。 ・身近な仲間と共に、多様なアイデアを生み出しながら、発見を連続させる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・やや長い時間、やや遠い空間的距離をとらえる。 ・やや空想的、やや抽象的にとらえる。 ・行為と行為の因果関係を意識し、失敗してもやり直そうとする。 ・具体から概念をつくり出す。 ・体験したことを相対化しながら既存の知識とつなげてとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・共感的、調和的に他者とかわる。 ・身近な仲間として、他者と喜びを共有する。 ・自分が他者と同じであるかやや不安を抱く。 ・集団の中で、自分の立場を意識しながら他者とかわる。 |
| 5年生の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・具体物をつくったり対象について調べたりしながら、対象に内包される生活の事実の意味や価値を求める。 ・経験を基に見通しをもって活動する。 ・仲間と共に、発見したことに意味や価値を見いだす。 | <ul style="list-style-type: none"> ・長い時間、遠い空間的距離をとらえる。 ・抽象的、やや論理的に自分の価値観をつくる。 ・行為と行為の因果関係を意識し、経験を基に成功に向かおうとする。 ・具体と抽象をつなげて概念をつくり出す。 ・体験したことを相対化しながら客観的事実とつなげてとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・調和的、寛容的で、複雑な感情をもちながら他者とかわる。 ・自分が他者と同じであるかやや不安を抱く。 ・集団の中で、他者に憧れを抱きながら他者とかわる。 |
| 6年生の子ども | <ul style="list-style-type: none"> ・具体物をつくったり対象について調べたりしながら、対象を内包する文化や歴史に関する専門的な見地を求める。 ・経験を基に見通しをもって活動する。 ・仲間と共に、知的なおもしろさを求めたり、発見したことに意味や価値を見いだしたり、新たな考えを生み出したりする。 | <ul style="list-style-type: none"> ・より長い時間、より遠い空間的距離をとらえる。 ・抽象的、論理的に、社会生活とのつながりをとらえながら自分の価値観をつくる。 ・行為と行為の因果関係を意識し、経験を基に成功に向かおうとする。 ・具体と抽象や抽象と抽象をつなげて概念をつくり出す。 ・体験したことを規準化しながら客観的事実とつなげてとらえる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・複雑な感情をもちながら、大局的に、集団をよりよくしようと他者とかわる。 ・自分が他者と同じであるか不安を抱く。 ・集団のリーダーとして他者とかわらうとする。 |